



アンデルセン童話集 1

アンデルセン〔作〕

初山滋 さし絵

大畑末吉 訳

岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1986年)
680円



花から生まれた、おやゆびほどの小さなかわいらしい女の子のお話「おやゆび姫」や、ほかのひなより大きくてみにくいアヒルの子が、実は美しい白鳥だった「みにくいアヒルの子」など、世界中で親しまれているアンデルセンの代表的な童話11編がおさめられています。シリーズは全3巻です。



イソップのお話

河野与一 編訳

稗田一穂 さし絵

岩波書店(岩波少年文庫) 2000年(初版1955年)
720円

北風と太陽のどちらが旅人の着物を脱がせることができるか勝負する「北風と太陽」、足の遅いカメと、それをばかにしたウサギが競争する「ウサギとカメ」など、有名な寓話集の中から、選りすぐられた300編がおさめられています。原典ギリシア語からの完訳版です。



いたずらおばあさん

高樓方子 作

千葉史子 絵

フレーベル館 1995年 1100円

エラババ先生は84歳のえらい洋服研究家です。弟子のヒョコルさんは68歳です。ふたりのおばあさんは、先生の発明した「わかくなる服」を着て、8歳の女の子に変身します。意地悪なおばさん達をだまして、広場にある立入禁止のぶたの彫刻に座らせてはじをかかせたり、大人をあっと言わせるいろんな楽しいいたずらをします。